

東京大学 宗教学年報

XXXIX

論文

現代台湾の礼儀師による葬送儀礼

—生死学の葬儀改革論との関係において— 池澤 優 1

フランスにおけるイスラーム言説と研究の諸相

—政治・社会・思想・日常生活— 伊達 聖伸 22

From Erasure of the Past to New Birth

—Rewriting Conversion as New Past in the Bavli— Joe SAKURAI 46

明治期文部省の政策構想における宗教教育への制限と保障

—「牧野伸顕関係文書」・「木下廣次関係文書」所収の法案の分析—
..... 高瀬 航平 67

近世イングランドの宗教史叙述に見る諸宗教相対化の構造

—サミュエル・パーチャス『パーチャスの巡礼』を例に— 河底 佑佳 84

明治後期から昭和初期の霊術と「不思議」

—霊術と奇術の並行関係に着目して— 伊藤 優 100

宗教シオニズムの思想的系譜を探って

—その源流とアブラハム・クックとの比較から— 犬塚 悠太 119

研究ノート

イスラーム神学にみる原子論的存在論から現代量子力学へ 塩尻 和子 139

日本人無宗教論の系譜

..... 藤原 聖子・稲村 めぐみ・木村 悠之介・坪井 俊樹・和田 理恵 153

研究動向

フランス・ロマン主義文学における宗教学的的研究の動向

—ポール・ベニシュを中心— 田口 哲郎 182

折口学の評価 —没後 50 年以後を中心に— 中條 真之介 196

精神分析と神秘主義の交錯 —ラカン派を中心とした研究動向— 林 蓮太郎 213

宗教学における空間論の変遷 —「空間論的転回」以後を中心に— 和田 知之 226

2021 年

東京大学宗教学研究室